

行政視察等報告書

令和元年10月17日

米子市議会議長様

会派名 公明党議員団  
 代表者氏名 安田 篤  
 提出者氏名 前原 茂



下記のとおり報告します。

記

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参 加 者	安田篤・前原茂・今城雅子・矢田貝香織
期 日	令和元年10月7日から令和元年10月9日まで
[概 要] (年月日・場所・内容) 10/7 呉市 「ゆめづくり地域協働プログラムについて」 説明：地域協働課 倉本課長、堀江課長補佐 10/8 宇部市 「ひきこもり相談支援について」 説明：障害福祉課 藤原課長、支援係看護師 宮原職員 10/9 四国中央市 「子ども若者発達支援について」 説明：発達支援課（兼センター長） 脇課長、管理係 近藤係長	
[所 感] 別紙記載	
経 費	旅費等総額 233,835円

## 【所 感】

### ●広島県呉市 『ゆめづくり地域協働プログラムについて』

呉市は明治22年に海軍の軍港（呉鎮守府）として発展。昭和18年には人口40万人に達したが、戦後の不況により人口が減少、現在223,685人となり、高齢化率も34.84%（H30年度、本市28.7%）と高くなっている。平成15年度に「市民協働推進条例」を施行。この条例は、市民が行政と共に地域の課題解決に向けて、お互いの利点を活かして、より良い効果を生み出していこうというものである。

具体的には、市民協働推進基本計画を策定し、「ゆめづくり地域協働プログラム」を作成。ゆめづくり委員会（地区自治連合・地区女性会連合会・地区福祉協議会・老人クラブ連合会・地区子ども会連合・NPO法人等で構成）を中心としたゆめづくりの取り組みを行っている。ゆめづくり地域交付金(年間48,500千円)を活用した地域行事を活性化している。1地区1,000千円～4,000千円の補助を行い、地域性に応じた独自の事業を展開。地域カフェや夏祭り、成人式、子ども会行事、マラソン大会など多岐にわたる行事を実施している。

また、市民公務員の育成に力を注ぎ、一人の市民として、市民本位の行政サービスの企画、実施に取り組む公務員を育成している。

本市の3倍の面積を有する呉市は、超高齢化社会の到来に向けて、地域の自主性によって、地域力の向上を図り、魅力あるまちづくりを目指している。

本市においても、地域住民の高齢化や地域のリーダーの育成など参考になる事が多くあった。

●山口県宇部市 『ひきこもり支援について』

宇部市は、人口165,000人、高齢化率32.16%、やはり住民の高齢化が深刻な問題になっている。8050問題が全国的に問題になっているなか、宇部市では、福祉総合相談センターを設け、全世代型の相談体制をとっている。しかし、ひきこもりは、早期相談、早期対応が重要である。長期化すると解決が困難になる傾向があり、専門生が求められることから、平成27年度からNPO法人『ふらっとコミュニティ』にひきこもり相談支援を委託。この『ふらっとコミュニティ』は、代表の山根俊恵氏（山口大学大学院医学系研究科 教授）が中心となり、平成17年に立ち上げられた法人である。

このふらっとコミュニティの職員は、責任者1名、職員3名、パート1名で構成されている。相談支援から家族心理教育、訪問支援、居場所づくり、就労支援と幅広く対応。多くの実績を上げている。平成30年度の相談件数は718件、家族心理教育は、432人、訪問支援6人、復職・復学が13人となっている。

相談者のおおよそ年齢は、30～40代となっている。宇部市は、年間800万円を委託料で支払っている。全国的にも、その実績に関心をもたれ、山根氏の講演依頼が殺到しているとのこと。

本市においても、ひきこもり相談支援体制の強化が必要である。行政においていつでも相談できる具体的な体制づくりを早急に考えなければ、今後深刻になっていく8050問題について、体制づくりが急がれる。

●愛媛県四国中央市 『子ども若者発達支援センターについて』

四国中央市の子ども若者発達支援センター 通称パレットは、平成29年4月に開設された、子ども若者育成支援推進法に基づいた総合支援センターです。建物は3階建ての吹き抜けを利用した明るい建物で、高学年や低学年向けの放課後デイや子供たちのプレイルーム、調理室、目的別の相談室など多様な用途に合わせた部屋が存在する。

このパレットは、相談は就学前の子どもの発達相談から若者のひきこもり、ニートなどの相談支援など、39歳までが相談できる場所である。

四国中央市の組織機構は、福祉部の中に高齢介護課、こども課、生活福祉課、発達支援課が存在する。この発達支援課がパレットの所属となる。

子ども若者発達支援センターの職員数は、49名で、そのうち籍職員が23名で、保育士や保健師、公認心理士、言語聴覚士、社会福祉士、作業療法士など多岐にわたる人材が存在。とくに、言語聴覚士は3名在籍。子どもの言葉の発達（吃音指導）に力を入れている。

また、相談者に対して、必要に応じて個別支援計画を作成し、長期にわたる係わりが持てるようなかたちを取っている。現在2,000名を超える計画書が存在する。

非常に興味深かったところは、就学前の子どもたちの感覚統合療法の必要性についてレクチャーをしていただいた点である。現代の子どもたちはバランス感覚などが不備な子が多く、作業療法士と遊びながら体験して覚えていく。発達障がい児（者）が早期にわかり、その特性を家族や本人が理解して。生きやすい社会を創れるような手助けを行政が積極的にしていかなければならない。

行政視察行程 (会派：公明党議員団 安田 篤、前原 茂、今城雅子、矢田貝香織 4名)

月 日	行 程	宿 泊 先
10/7 (月)	<p>8:19 米子駅 == (伯耆大山駅) == 10:35 岡山駅 == 11:34 広島駅 == 12:00 呉駅 JR 特急やくも 8号 JR 新幹線さくら 551号 JR 快速安芸芸路ライナー・広行</p> <p>12:31 【昼食】</p> <p>【議会事務局】 ☎08223-25-3242</p>	<p>コンフォート ホテル呉 ☎08223-32-4811</p>
10/8 (火)	<p>9:42 呉駅 == 10:25 広島駅 == 11:31 新山口駅 == 12:48 琴芝駅 JR 呉線・広島行 JR 新幹線こだま 783号 JR 宇部線・宇部新川行</p> <p>【調査項目】 ゆめづくり地域協働プログラムについて</p> <p>午後2時00分から午後3時30分まで</p> <p>【議会事務局】 ☎08336-34-8812</p>	<p>ホテル リブマックス 伊予三島 ☎0896-23-2011</p>
10/9 (水)	<p>16:17 琴芝駅 == 16:32 宇部駅 == 16:59 新山口駅 == 17:46 広島駅 == 18:27 岡山駅 == 20:03 伊予三島駅 JR 宇部線・宇部 JR 山陽本線・岩国行 JR 新幹線さくら 564号 JR 新幹線のぞみ 52号 JR 特急しおかぜ 23号</p> <p>午前10時00分から午後0時00分まで</p> <p>【調査項目】 子ども若者発達支援センターについて</p> <p>【議会事務局】 ☎0896-28-6048</p>	
	<p>【昼食】 12:52 伊予三島駅 == 14:10 岡山駅 == (伯耆大山駅) == 17:17 米子駅 JR 特急しおかぜ 16号 JR 特急やくも 17号</p>	

広島県呉市・山口県宇部市・愛媛県四国中央市

旅費計算表

令和元年10月7日～令和元年10月9日(2泊3日)

月日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地キロ数	運賃	グリーン	急行料		泊料		
								別	新幹線	日	当宿	
10/7	米子駅～岡山駅	JR	159.1			7,710	岡山往復割	議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円	1,500	9,800円	
(月)	～広島駅	JR	161.3			3,020					6,400	
	～呉駅	JR	26.4									
10/8	呉駅～広島駅	JR	26.4			3,350				1,500	10,000	
(火)	～新山口駅	JR	132.8					3,000				
	～琴芝駅	JR	26.0									
	～宇部駅	JR	7.2			7,260						
	～新山口駅	JR	25.3									
	～広島駅	JR	132.8					4,070				
	～岡山駅	JR	161.3									
	～伊予三島駅	JR	97.6					850				
10/9	伊予三島駅～岡山駅	JR	97.6			1,900		1,700		1,500		
(水)	～米子駅	JR	159.1									
計	議員旅費				56,760	23,240	0	2,550	10,070	0	4,500	16,400
	随員旅費				0							
	出席議員	今城雅子、前原 茂、安田 篤、矢田貝香織										

議員旅費 56,760 × 4名 = 227,040 円

お土産代(送料含む) 6,795 × 1式 = 6,795 円(呉市、宇部市、四国中央市)

旅費総額 233,835 円